

荒川から  
地球が  
みえる  
来る



NPO法人  
荒川クリーンエイド・  
フォーラム  
2017報告集

# 荒川クリーンエイド・フォーラムが目指すもの

## — 私たちのビジョン(目指す社会) —

### ごみ問題と向き合い、自然とともに生きる社会

2016年1月、政財界の有力者が集う「世界経済フォーラム(WEF)年次総会(ダボス会議)にて、各国が相当に積極的なリサイクル政策を導入しない限り、2050年までに海を漂うプラスチックごみの量は魚の量を上回ることが発表されました。今まさに、一人ひとりがごみ問題と向き合い、自然とともに生きることが求められています。私たちはその社会の実現のために活動しています。

## — 私たちのミッション(果たす使命) —

### 荒川での活動をモデル事例とし、世の中全体のごみ問題解決につなげる

私たち荒川クリーンエイド・フォーラムは「荒川での活動をモデル事例とし、世の中全体のごみ問題の解決」を目指します。  
 海域に流入するごみの5~8割は陸域由来と言われています。  
 当団体が1994年から培ってきたパートナーシップ構築、河川清掃活動等のknow-howを最大限に活かし、これらの社会問題の解決に向け、まい進していきます。

## ■ 荒川クリーンエイド・フォーラムのビジョン/ミッション/コアバリュー

- ・泥くさくとも、ひた向きにごみ問題と向き合って  
多くの人に清掃活動の意義を伝える
- ・社会の一員としての責任と自覚を再認識してもらえるような、  
心にも頭にも良い社会貢献の場を提供する
- ・複眼的な視点で物事を捉えられるような機会を提供する
- ・ごみ問題を通して大量消費社会から循環型のライフスタイルを提案する
- ・活動の輪を広げるため、変化を恐れず、  
楽しさとちょっと変なものを創造する
- ・多様なセクターと良好なパートナーシップを築き、  
ともに社会課題に取り組む
- ・情熱と強い意志、  
そして三方よしの考えをもって、  
環境保全活動にまい進する

**コアバリュー**  
大切にすること

**ビジョン**  
目指す社会像

『ごみ問題と向き合い  
自然とともに生きる社会』

**ミッション**  
果たす使命

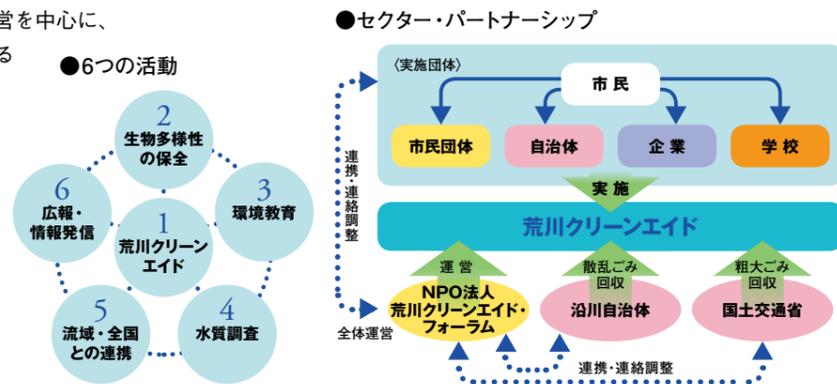
『荒川での活動をモデル事例とし、  
世の中全体のごみ問題の解決につなげる』

『より多くの人へ活動の輪を広げ  
一緒にごみ問題の解決に向けて  
取り組む』

## ■ 荒川クリーンエイド・フォーラムとは

1994年に当時の建設省荒川下流工事事務所が呼びかけて行った一斉ごみ拾い「荒川クリーンエイド」に端を発します。この行事に参加した市民団体が中心となり、1997年に任意団体荒川クリーンエイド・フォーラムを結成し活動を継続しています。

1999年にNPO法人取得後は、活動基盤を整え「荒川クリーンエイド」の運営を中心に、環境教育や生物多様性の保全をはじめとする様々な領域への活動へと発展しています。荒川クリーンエイドは、流域の至るところで実施されてきました。自然環境の回復を願い、荒川に集い思いを寄せる人々との交流の輪を広げ、市民、自治体、企業、学校などの多様なセクター間のパートナーシップを実現しています。



# 目次

メッセージ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

2017年の主な活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

荒川クリーンエイドの運営・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

荒川クリーンエイドの概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

2017年実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

荒川のごみの実態2017・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7

効率的なごみの回収を模索・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9

広がる荒川クリーンエイドのさまざまな‘かたち’・・・・・・・・・・・・・11

源流から河口までクリーンエイドのネットワーク・・・・・・・・・・・・・12

荒川クリーンエイドの仲間たち・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14

環境教育の推進／生物多様性の保全・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・27

体験型社員研修による環境教育の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・28

環境教育への取り組み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・30

荒川水辺サポーター、荒川下流自然懇談会・・・・・・・・・・・・・32

流域・全国・世界・他セクターとの連携・・・・・・・・・・・・・33

源流とともに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・34

全国・世界に向けて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・35

広報・情報発信・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・36

より多くの人に知ってもらうために・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・37

ごみ削減に向けて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・38

メディア等での紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・39

2017年 お世話になりました・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・40

荒川クリーンエイド・フォーラムの組織・・・・・・・・・・・・・41



## マイクロプラスチックの海洋汚染を止めるために



NPO法人  
荒川クリーンエイド・フォーラム  
代表理事

### 佐藤 正兵

1994年から始まった荒川クリーンエイドも今年度で24年が経ちました。この活動は、毎年1万人を超える皆様

にご参加いただき、社会的にもそれなりに認知され、定着してきたように思います。市民団体や企業の中には、10年以上続けて参加いただいている団体も多く、良い意味で「始めたらやめられない活動」になっています。

### 「環境は心だ」の合言葉

ごみを拾って、川がきれいになると気持ちもさわやかになり、笑顔も生まれます。また、荒川をフィールドに実施されている「ふるさと清掃運動会」では、王貞治会長の「環境は心だ」を合言葉に活動しています。

荒川クリーンエイドに参加した子どもたちは、ごみを拾うことで、自然環境が良くなっていることを体験しています。自然がよみがえることで生態系が守られ、そこで暮らす人々もその恩恵を受けて潤っています。この活動は「環境を守る心」を育てていると言えます。

### マイクロプラスチック問題

プラスチックごみは、早期に回収し、マイクロプラスチック化を防がなければ、荒川から東京湾、そして太平洋へと流出し、漂流・拡散していきます。この状態を放置すれば、やがて世界の海はプラスチックごみで溢れてしまうでしょう。

### 2050年問題

実際、2050年には魚の量よりもプラスチックごみの量が多くなるという予測も出ています。荒川クリーンエイドに参加してこの問題に気付いた人から、プラスチックの使い捨てと海洋汚染を止めるための声を上げ、行動を起こしましょう。

### 荒川から世界へ

荒川から全国、そして世界へ、川の自然を護るとともに、川から海に流れ出すごみを最小限に抑えるために、この活動が全国に広まっていくことを期待しています。

## 水環境、水防災への意識の向上に向けて



国土交通省  
荒川下流河川事務所長

### 中須賀 淳

荒川は、埼玉県秩父山地を源流として、埼玉県を流下し、東京都に入り隅田川を分派して東京湾に注ぐ約173kmの一級河川です。下流部に位置する岩淵水門から河口までの22kmは、明治43年の洪水被害を契機として、明治44年から昭和5年にかけて人工的に開削された放水路ですが、現在では、洪水の脅威からまちを守るだけでなく、スポーツ、散策など人との関わりによる利用環境の場や、動植物が生息・生育する自然環境の場となるなど、首都圏における貴重なオープンスペースとなっています。

### 水環境の意識向上に繋がる活動

このような中、荒川クリーンエイドの活動は、地域の方々により平成6年から熱心に続けられています。単にごみを拾うだけではなく、ごみの種類ごとに数を数えながら拾う「調べるごみ拾い」などを通じ、環境保全意識を高めるなど、水環境への意識の向上に繋がっています。私は、今年参加できませんでしたが、昨年8月に参加し、「調べるごみ拾い」に加え、ヨシを使った草笛作り、ヒヌマイトトンボの生息地の観察など、非常に楽しく活動し、荒川の素晴らしさを実感しました。

### 川に来て、川を知ってもらう

その一方で、平成27年は関東・東北豪雨により鬼怒川等で堤防が決壊、平成28年は台風10号等により北海道や東北地方、さらに平成29年も7月に九州北部豪雨により大きな被害が発生しました。地球温暖化により水害が頻発化・激甚化することが懸念されていますが、すでに顕在化しているのではないかと心配になります。このため「施設の能力には限界があり、施設では防ぎきれない大洪水は必ず発生するもの」へと水防災に対する意識を変え、社会全体で洪水氾濫に備える必要があります。荒川下流域では、高規格堤防の整備、京成本線荒川橋梁の架け替えなどのハード対策だけでなく、台風による風水害に備えた荒川下流タイムライン(事前防災行動計画)を平成27年から運用し、平成29年からは関係する16市区全てに拡大して運用するなど、ソフト対策にも力を入れ、地域防災力の向上に取り組んでいます。

このような、水環境、水防災への理解を深めるための第一歩は、地域の方々に、まずは川に来ていただき、川を知ってもらうこと、意識してもらうことだと思います。荒川下流河川事務所においては「防災の第一歩は水辺に集い親しむことから」をテーマに様々な取り組みを進めます。引き続き、荒川クリーンエイド活動の皆様方のご支援とご協力をお願い申し上げます。



## 2017年の主な活動

2017年も皆さまのおかげで充実した活動をおこなえました。

- |            |  |
|------------|--|
| <b>2月</b>  | 10(金) <b>[開催]</b> 荒川クリーンエイド2016報告・2017連絡会<br>11(土) <b>[講演]</b> 板橋リサイクルプラザセミナー<br>17(金) <b>[講演]</b> かがわ「里海」づくりセミナー                                    |
| <b>3月</b>  | 4(土) <b>[参加]</b> 第3回川ごみサミット<br>12(日) <b>[参加]</b> 荒川流域再生シンポジウム<br>24(金) <b>[出演]</b> J-WAVE 「TOKYO UNITED」で活動紹介  |
| <b>4月</b>  | 23(日) <b>[開催]</b> 荒川クリーンエイド体験会   |
| <b>5月</b>  | 10(水) <b>[掲載]</b> 朝日新聞「eco活プラス」で活動掲載<br>15(月) <b>[開催]</b> 荒川クリーンエイド・フォーラム定期総会<br>31(水) <b>[達成]</b> クラウドファンディング「トビハゼプロジェクト」                           |
| <b>6月</b>  | 3(土) <b>[出展]</b> 江戸川区主催 環境フェア<br>4(日) <b>[参加]</b> 身近な水環境の全国一斉調査<br>4(日) <b>[開催]</b> 第1回兼廣先生のプラスチック学習会<br>11(日) <b>[共催]</b> 第8回大学対校！ゴミ拾い甲子園           |
| <b>7月</b>  | 20(木) <b>[開催]</b> 第2回兼廣先生のプラスチック学習会  |
| <b>8月</b>  | 1(火)~4(金) <b>[出展]</b> '17東京下水道展<br>10(木)~12(土) <b>[参加]</b> 韓国「江(川)の日大会」<br>25(金) <b>[掲載]</b> 読売新聞「KODOMOサタデー」で活動掲載<br>26(土) <b>[開催]</b> 海ごみ問題シンポジウム  |
| <b>9月</b>  | 3(日) <b>[開催]</b> 荒川クリーンエイド体験・説明会<br>9(土) <b>[開催]</b> バッタとなかよし<br>9(土)~10(日) <b>[参加]</b> いい川・いい川づくりワークショップ福岡大会<br>27(水) <b>[開催]</b> 第3回兼廣先生のプラスチック学習会 |
| <b>10月</b> | 7(土) <b>[共催]</b> ふるさと清掃運動会<br>9(祝) <b>[開催]</b> 荒川クリーンエイド体験会  |
| <b>11月</b> | 3(祝) <b>[開催]</b> SAVE JAPANトビハゼプロジェクト<br>24(金) <b>[開催]</b> 第4回兼廣先生のプラスチック学習会   |
| <b>12月</b> | 3(日) <b>[開催]</b> バタゴニア環境助成金トビハゼの泥干潟保全プロジェクト<br>8(金) <b>[講演]</b> Bloomberg日本オフィス開設30周年記念イベント<br>10(日) <b>[共催]</b> 第9回大学対校！ゴミ拾い甲子園                     |

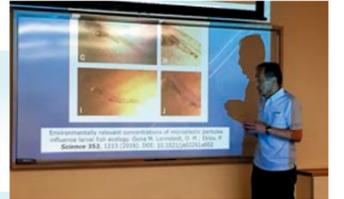
青色文字は荒川クリーンエイド・フォーラムの主催イベント  
※荒川あちこちクリーンエイドを3/25(土)、6/18(日)、7/23(日)、8/20(日)、9/10(日)に実施  
※定量ごみ調査を2月、5月、8月、11月に実施



2016報告・2017連絡会



荒川クリーンエイド体験会



兼廣先生学習会シリーズ



海ごみ問題シンポジウム

いい川・いい川づくりワークショップ入賞



SAVE JAPAN トビハゼプロジェクト



Bloomberg日本オフィス開設30周年記念イベント



## 荒川クリーンエイドの仲間たち

荒川クリーンエイドは、2017年も市民団体・自治体・企業・学校など様々な団体とのパートナーシップを実現しながら、荒川とその支流の各地で実施されました。

### 1 秩父教育懇話会(秩父子どもエコクラブ)

高砂橋上流右岸(長瀬市)／新井 秀直  
①8月8日(火) 中止 (2018年1月に延期)

### 2 (NPO)熊谷の環境を考える連絡協議会

熊谷市内荒川河川敷(熊谷市)／栗原 亮



ごみ拾いは晴天に恵まれ、従来通り一般市民、自治会、企業、子供会、各種団体等から大勢参加いただきました。ごみ集積場所(12ヶ所)には旗を立て、熊谷市美化センターからバッカー車3台でごみ回収に当たっていただいた。受付場所は6ヶ所を設け、それぞれがスタッフ2名で対応した。また、本年は事業開始以来20年目の節目を迎えたので記念事業として長年にわたり参加いただいた団体に感謝状を贈呈した(25団体)。子供たちを中心に参加認定書を準備し、参加者に差し上げた。

①11月12日(日) ②1021(180)人 ③可燃ごみ210kg、不燃ごみ310kg ④粗大ごみ80kg

### 3 鴻巣の環境を考える会

1)~3) 鴻巣市河川敷3会場(鴻巣市)、  
4) 荒川小谷左岸鴻巣コウノトリ田んぼ付近(鴻巣市)／川島 秀男



おかげさまで、海より64kmの荒川左岸堤防隣接の鴻巣コウノトリ田んぼにはオオハクチョウが飛来しました。無農薬・無化学肥料の6年目の冬水田んぼです。荒川のクリーンエイドにご協力いただいた鴻巣の環境を考える会およびNPO

法人鴻巣こうのとりを育む会の皆様はじめ関係者に心より感謝いたします。今年は、コウノトリも住む自然環境の再生に向けて精進したいと思えます。

1) 大芦橋下流左岸 ①11月23日(木) 中止  
2) 糠田橋下流左岸 ①11月23日(木) 中止  
3) 御成橋下流左岸 ①11月23日(木) 中止  
4) ①12/22(金) ②13人 ③30袋(0/30/0) ④25個  
⑤NPO法人鴻巣こうのとりを育む会

### 4 大谷川クリーン大作戦市民実行委員会

1) 太田ヶ谷地区／内野 訓雄 2) 五味ヶ谷地区／滝島 静明  
3) 藤金地区／小沼 英二



2017年度の大谷川一斉清掃活動は、11月19日に実施した。例年のように、藤金地区、五味ヶ谷、太田ヶ谷の市内3会場で一斉に行った。総勢46名が参加してごみの回収と河川整備を行った。10月に襲来した台風による豪雨の影響で、大谷川は各地で小規模な氾濫が起きたようで、藤金会場では川岸に家電やタイヤなどの大型ごみが多数散乱し、回収に苦労したようである。太田ヶ谷地区では、清掃前に下流部に繁殖していたヨシが行政により刈り取られていて、ごみの回収作業も少なくて済んだ。昨年処分に苦労した外来植物のオオフサモは、市の担当によって処分されていて、作業は楽だった。

1) ①11月19日(日) ②7人 ③16袋(14/2/0) ④1個  
2) ①11月19日(日) ②12人 ③52袋(45/6/1) ④80個  
3) ①11月19日(日)

### 5 荒川太郎右衛門自然再生協議会

荒川太郎右衛門自然再生地(川島町)／川島 秀男

①10月21日(土) 中止

### 6 (NPO)荒川の自然を守る会

三ツ又沼ビオトープ(川島町)／菅間 宏子



今年は非常にごみが少なかった。原因の一つとして考えられるのは近くの交番にパトロールをお願いしたことがあります。春にたびたび下着や内容不明のごみが捨てられるので交番に相談しました。夜も時々パトロールをしてもらえ

ようになったのが大きいと思います。  
①10月1日(日) ②19(2)人 ④1袋(1/0/0)

### 7 NTT東日本 埼玉事業部グループ

1) 入間川上戸運動公園(川越市)  
2) 秋ヶ瀬公園(さいたま市)／石塚 菜穂美



【秋ヶ瀬公園】 NTT埼玉グループ各社の社員、ご家族およびOBが集まり、コミュニケーションを図りつつ、楽しく活動することができました。

【入間川上戸運動公園】 強風のため、作業は大変でしたが、活動することにより、改めて豊かな生態系を守るためにも、水辺の環境を汚さないことが大切であることに気付かされました。

1) ①11月12日(日) ②34人 ③21袋(15/5/1) ④4袋(1/3/0) ⑤2個  
2) ①11月12日(日) ②131(3)人 ③8袋(5/1/2) ④1袋(0/1/0) ⑤18個

### 8 黒目川クリーンエイド実行委員会

黒目川・新小金井街道周辺(東久留米市)／菅谷 輝美

①10月22日(日) 中止

### 9 あさか環境市民会議/黒目川に親しむ会

黒目川・浜崎黒目橋周辺(朝霞市)／藤井 由美子



この活動は以前は「黒目川に親しむ会」が主体で行っていましたが、高齢化のため、数年前から「あさか環境市民会議」が主催しています。今年は、台風の後でごみがいつもより多かったのですが、中学生のサッカーチームが参加してくれ、

チラシを見て参加した小・中学生もいて、とても心強く感じました。なお、翌々週には釣り人たち有志のごみ拾いもありました。

①11月18日(土) ②50(37)人 ③18袋(13/5/0) ④3袋(1/1/1)

### 10 埼玉県生態系保護協会 戸田・藤支部、戸田市公園河川課、荒川夢クラブ

戸田橋周辺左岸(戸田市)／石本 誠

①11月18日(土) ⑥地元中学校、大学ボート部、地元町会 中止

### 11 荒川夢クラブ

荒川運動公園釣堀池周辺(川口市)／林 美恵子



4月23日(日)大人の参加者やボーイスカウトの子供たちなどがアットホームな雰囲気の中に、干潟に降りて上流からの漂着ごみをみんなでがっつり拾いました。時間延長したほです。水質の専門家が最新の機器を荒川の水に直接突っ込んで検査したら、水温、PH、濁度が数値で即分かり、皆さん、驚いていました。オプションでカラスノエンドウの若芽茶も味わいながら、「拾い甲斐があった」「また参加したいな」の感想の声も聞かれました。

①4月23日(日) ②17(4)人 ③25袋(7/9/9) ④8袋(4/4/0) ⑤8個  
⑥ボーイスカウト川口第7団

### 12 川口市役所建設部建設管理課

荒川運動公園～三領水門(川口市)／本澤 正之



今年も風の強い中、多くの方に参加いただき荒川河川敷の清掃活動ができました。目につく大きなごみは少なくなっても、小さなごみ(たばこの吸い殻等)はあるようでした。今後もこの活動を通じて、多くの方に荒川に親しんでいた

だけたらと思いました。  
①11月12日(日) ②85(30)人 ③3袋(1/1/1) ④1袋(0/1/0)  
⑥荒川夢クラブ、川口市立南中学校、川口市立原町小学校、ボーイスカウト川口地区

### 13 ふるさと清掃運動会実行委員会

笹目橋下流右岸(板橋区)／王 貞治



ふるさと清掃運動会は、毎年10月を集中月間に全国の市民、学生、企業で働く人たちに呼びかけ清掃運動会を開催し、今年で11年目。これまでに賛同し行動した全国の方々には25万人を超えました。実行委員長は王貞治氏。実行委員会は毎年大清掃運動会を開催し、今年は10月7日(土)に行いました。あいにくの天候のため少年野球は中止、釣り教室も小規模となり、700名の参加となりましたが、東京都板橋区荒川の川岸900mに漂着した大量のごみを拾うことが出来ました。

①10月7日(土) ②700(140)人 ③552袋(341/26/185)  
④227袋(65/162/0) ⑤127個

### 14 (NPO)荒川クリーンエイド・フォーラム



1) 首都高速7号線下流右岸(江戸川区)  
①1月16日(月) ②10人  
③12袋(8/1/3)  
④5袋(2/3/0) ⑤6個  
⑥(株)チームビルディングジャパン

2) 千住新橋周辺右岸(足立区)  
①3月25日(土) ②106(6)人 ③66袋(33/7/26) ④40袋(16/24/0)  
⑤28個 ⑥リコージャパン(株)、ホワイト&ケース法律事務所

3) 笹目橋下流右岸(板橋区)  
①6月18日(日) ②4人 ③5袋(2/0/3) ④2袋(1/1/0) ⑤12個  
4) 扇大橋上流右岸(足立区)  
①7月23日(日) ②12人 ③18袋(11/1/6) ④7袋(3/4/0)  
5) 四ツ木橋上流右岸(墨田区)  
①8月20日(日) ②12(3)人 ③16袋(9/2/5) ⑤12個  
6) 千住新橋周辺右岸(足立区)  
①9月3日(日) ②14(1)人 ③10袋(7/1/2) ④4袋(2/2/0)  
7) 木根川橋上流右岸(墨田区)  
①9月10日(日) ②9人 ③38袋(22/4/12) ⑤12個  
8) 都営新宿線下流右岸(江戸川区)  
①11月1日(水) ②1人 ③2袋(1/0/1) ④2袋(1/1/0)  
9) 都営新宿線下流左岸(江戸川区)  
①11月3日(金) ②150(30)人 ③92袋(77/0/15) ④14袋(6/8/0)  
⑤11個 ⑥(公社)日本環境教育フォーラム、損保ジャパン日本興亜(株)  
10) 都営新宿線下流左岸(江戸川区)  
①12月3日(日) ②62(1)人 ③79袋(59/0/20) ④28袋(9/19/0)  
⑤12個 ⑥パタゴニア日本支社

### 15 いたばし野鳥クラブ

板橋区生物生態園周辺(板橋区)／栗林 菊夫



関係団体はいずれも日程が合わず、国書日本語学校の留学生10名が参加してくれました。娘と孫を連れての参加もあり、みんなの人気者になっていました。中規模自然だと生物生態園にて50分ほどの時間でごみを拾いました。この間に豚汁を作り、防災食を分け合って、楽しくいただきました。食後は野鳥と植物観察を行い、午後1時頃には撤収しました。

①4月15日(土) ②33(1)人 ③9袋(5/2/2) ⑤5個 ⑥国書日本語学校

## 16 板橋区立リサイクルプラザ

戸田橋上流右岸(板橋区)



- 1) 2月11日(土) 2) 10(2)人
- 3) 6袋(3/1/2) 4) 4袋(1/3/0)
- 5) 2個

## 17 北区水辺の会

北区・子どもの水辺(北区) / 太田桐 正吾



「北区・こどもの水辺」で活動しています。定例活動は第3土曜日です。この日に、クリーンエイドを実施しています。終わってからの、交流会は楽しいです。ハート型のワンドと長方形のワンドの維持、管理しています。子どもたちが、

楽しく自然学習ができるように、サポートをしています。1番人気はクロベンケイガニ捕りで、その時はとても賑やかです。

- 1) 1月21日(土) 2) 9人 3) 6袋
- 2) 12月18日(土) 2) 9人 3) 11袋
- 3) 13月18日(土) 2) 10人 3) 25袋
- 4) 14月15日(土) 2) 111(13)人 3) 9袋 5) 2個
- 5) 15月20日(土) 2) 8人 3) 9袋(2/3/4) 5) 1個
- 6) 16月17日(土) 2) 16人 3) 16袋
- 7) 17月15日(土) 2) 8人 3) 5袋
- 8) 18月19日(土) 2) 14(4)人 3) 10袋
- 9) 19月16日(土) 中止
- 10) 10月21日(土) 中止
- 11) 11月18日(土) 中止
- 12) 12月16日(土) 2) 7人 3) 16袋

## 18 東京都立桐ヶ丘高等学校

新荒川大橋上流右岸(北区) / 富樫 孝介



天気も良く、全員が力を合わせて活動ができた。一見するときにきれいに見えた水辺であるが、近くまで行くと予想以上にゴミが多かった。2時間活動したが、ゴミ袋がかなり一杯になった。日々の生活の中で、水環境について考える機会は

あまりないので、今回は貴重な経験をさせてもらえたと思う。ゴミを減らそうという意識もこれまではあまり持っていなかった。今日の活動は自分にとって一生の財産になったと思う。

- 1) 11月7日(火) 2) 73人 3) 36袋(6/12/18) 4) 13袋(9/4/0) 5) 8個

## 19 大正大学 環境サークルsmile

新荒川大橋上流右岸(北区) / 小松 理沙



私たちの団体は5年前に発足し、現在は月1回の頻度で活動しています。今回の活動を通して、都市の環境問題がどれほど深刻なものかが分かりました。今後も活動をする中で環境問題に関する理解を深め、部員たちみんなで解決できるよう努力していきます。

- 1) 15月28日(日) 2) 17人 3) 7袋(2/3/2) 4) 3袋(1/2/0)
- 2) 11月3日(金) 2) 9人 3) 8袋(3/2/3) 4) 5袋(2/3/0)

## 20 (NPO)国際ボランティア学生協会 IVUSA

- 1) JR京浜東北線～新荒川大橋の右岸(北区) / 本澤 彩乃
- 2) 戸田橋下流右岸～京浜東北線上流右岸(北区) / 大橋 菜生



- 1) 14月30日(日) 2) 91人 3) 4袋(2/1/1) 4) 1袋(1/0/0) 5) 1個
- 2) 11月26日(日) 2) 60人 3) 8袋(4/2/2) 4) 5袋(1/3/1) 5) 12個

## 21 SCSK(株)

新荒川大橋周辺右岸(北区) / 佐藤 利也

- 1) 12月16日(土) 2) 22(3)人 3) 28袋(18/1/9) 4) 8袋(2/6/0) 5) 4個

## 22 北区

新荒川大橋下流右岸(北区) / 町田 岳

- 1) 10月29日(日) 中止

## 23 日本工営(株)

新荒川大橋下流右岸(北区) / 石原 宏二



活動に参加してから9年目。今年も新規参加者から、「拾ってみるとゴミがたくさん出てくる」とのこと。隠れて見えにくいゴミをこれからも拾い続けていきたいと感じる会でした。

- 1) 7月29日(土) 2) 29(7)人 3) 4袋(2/1/1) 4) 2袋(1/1/0)

## 24 ボーイスカウト東京連盟 城北地区北第11団

岩淵水門周辺右岸(北区) / 長坂 養一



ゴミを拾う人は素晴らしい人だと言う人あり。ボーイスカウトは、もう一段高い目的でこのクリーンエイドに奉仕しております。それは、誰が捨てたか分からないゴミを拾うことを喜んでやっている者は少ないからです。この嫌な事

を体験してもらい、この嫌なことをやらなくても済むよう、「ゴミを拾う人から、ゴミを捨てない人に」を目標としています。

- 1) 16月25日(日) 2) 17(10)人 3) 8袋(3/2/3) 4) 2袋(1/1/0)
- 2) 19月24日(日) 2) 114(20)人 3) 9袋(3/3/3) 4) 2袋(1/0/1) 5) 城北信用金庫、ボーイスカウト東京連盟城北地区豊島7団

## 25 大日精工工業(株)

鹿浜橋下流左岸(足立区) / 久保杉 俊博



弊社は荒川に面しており、鹿浜橋と江北橋の間に位置しています。弊社事業所の環境方針に「荒川水域の環境保全」を掲げており、今回、荒川クリーンエイドのサポートをいただき、社員26名参加で実施しました。散歩時に見える

ゴミと実際にごみ拾いを行った結果の違いに驚きがありました。今後も環境保全の一助として活動してまいります。

- 1) 11月16日(木) 2) 26人 3) 10袋(6/1/3) 4) 5袋(1/4/0) 5) 5個

## 26 足立区本木・水辺の会

西新井橋上流左岸(足立区) / 三井 元子



「足立区本木・水辺の会」は、荒川下流の西新井橋左岸上流に位置する「自然・本木ワンド」を自然環境と調和・共存した水辺空間として如何に活用できるかをテーマに、人々が訪れたい近辺の水辺・憩いの場となることを目指しています。区民の身近な水辺の憩いや環境学習の場として活用いただけるように動植物の貴重な生息環境の保全、外来種の駆除や漂着ゴミ、不法投棄ゴミ問題にも向き合っており、ヨシ原や干潟の維持管理活動などを行なっています。

- 1) 16月10日(土) 2) 18人 3) 18袋(17/1/0) 4) 3袋(1/1/1) 5) 7個
- 2) 11月11日(土) 2) 8人 3) 25袋(18/4/3) 4) 7袋(2/4/1) 5) 4個

## 27 豪田ヨシオ部((株)クリエイティブPR)

西新井橋下流左岸(足立区) / 平野 マユミ



豪田ヨシオ部は、これまで32大学、1,100人以上の学生が参加した人気イベント「大学対校! ゴミ拾い甲子園」を夏と冬に荒川河川敷で開催しています。今年の夏は、過去最多の16大学が参加しました。また、大手求人情報サイトと協働し、学生のごみ拾い時間を時給換算。熊本震災への支援として熊本県の義援金窓口へ寄付するWボランティアを実現できました。参加した大学生から好評を得ているイベントとなっております。荒川クリーンエイド・フォーラムの皆様のご協力に感謝し、これからも荒川の自然を守りながら当イベントを盛り上げてまいります。

- 1) 16月11日(日) 2) 180人 3) 118袋(87/4/27) 4) 60袋(28/32/0) 5) 45個
- 2) 12月10日(日) 2) 103人 3) 110袋(64/1/45) 4) 44袋(20/24/0) 5) 44個

## 28 東レグループ

千住新橋上流左岸(足立区) / 金森 麻理子



ごみ問題について、参加者一人ひとりが「考える・学べる」良い機会となっております。4度目となる今回の活動では、荒川の生物多様性に触れる時間も設け大変好評でした。清掃活動と環境教育をセットで行うことで、参加者の環境保全に対する意識が一層深まり、有意義な取り組みとなりました。

- 1) 5月27日(日) 2) 28(3)人 3) 28袋(17/2/9) 4) 12袋(3/9/0) 5) 4個

## 29 (NPO)ハンズオン東京

- 1) 四ツ木橋周辺左岸(葛飾区)、2) 堀切橋上流右岸(足立区) / 深澤 天童



弊会では、様々な企業の社員様と一緒に清掃活動を実施させていただきました。毎回、参加者からはゴミの多さに驚いたとコメントをいただきます。荒川のごみ問題については、まだまだ社会に認知されていない課題だと思っております。

で、引き続き、関わらせていただきたいと思います。

- 1) 19月29日(金) 2) 53人 3) 62袋(32/13/17) 5) 13個 6) エレクトロニック・アーツ(株)
- 2) 11月10日(金) 2) 33人 3) 64袋(33/1/30) 4) 29袋(10/19/0) 5) 19個 6) アレクシオンファーマ(合)



市民団体	自治体
企業	学校
実施会場名 / キャプテン名	
1) 実施日 2) 参加人数(子ども人数)	
3) 大ゴミ袋数(可燃/不燃/ペットボトル)	
4) 小ゴミ袋数(びん/缶/電池) 5) 粗大ゴミ数 6) 参加団体	

## 180 Degrees Consulting Japan



180Degrees Consulting Japanは、コンサルティングを通じて、非営利組織の課題解決に務める学生団体。彼らのミッションは社会奉仕活動をおこなう団体の抱える問題に対してイノベティブで実用的な解決策を考えることにより、より大きな影響を社会に及ぼすことができるようサポートすること。荒川クリーンエイド・フォーラムも彼らの支援を受け、認定NPO法人の取得に向けた会員(ファン)の増加や学生インターンの獲得に向けた施策を提案してもらっています。

## 30 アクサ生命保険(株)

千住新橋下流左岸(足立区)／早坂 紀彦



配属直後の新人3名を含む34名での初参加です。水際に降りた瞬間、アシの間に散乱するペットボトルやビニール袋の量に全員が茫然。すぐに気を取り直し、お互い声をかけ合い協力しながら、空のごみ袋を満タンにしていきます。

最後の記念撮影では、導入説明時には想像もしなかった量のごみ袋を前にガッツポーズ。自然と笑顔がこぼれます。全員で達成感を共有するとともに環境問題への意識を新たにす、貴重な一日となりました。

- ①6月7日(水) ②34人 ③84袋(43/2/39) ④24袋(10/14/0) ⑤15個 ⑥(株)チームビルディングジャパン

## 31 足立成和信用金庫

千住新橋下流左岸(足立区)／古性 力

- ①9月2日(土) 中止

## 32 みずほフィナンシャルグループ

1)～3) 江北橋下流右岸(足立区)、4) 清砂大橋下流右岸(江東区)／大野 なぎさ



弊社では「地域・社会のニーズを踏まえた社会貢献活動の推進」をCSRの中長期的取組み方針の一つと位置付け、年間を通じて各地での取り組みを推進しています。それを踏まえ、企業理念理解の第一歩として、新入社員842名が本活動に取り組みました。

活動を通じ、改めて環境問題を身近に感じることができたと同時に、会社としての社会的責任や公共的使命について考えるきっかけとなりました。

- 1) ①4月21日(金) ②302人 ③194袋(152/3/39) ④108袋(54/54/0) ⑤19個  
2) ①4月25日(火) ②258人 ③151袋(120/2/29) ④62袋(26/36/0) ⑤38個  
3) ①4月27日(木) ②248人 ③145袋(105/3/37) ④78袋(36/42/0) ⑤72個  
4) ①5月15日(月) ②45人 ③54袋(40/6/8) ④4袋(0/3/1) ⑤46個

## 33 尾久の原愛好会

扇大橋下流右岸(足立区)／石川 正

- ①10月22日(日) 中止

## 34 荒川区地域文化スポーツ部スポーツ振興課

扇大橋下流右岸・西荒井橋下流右岸(足立区)／町田 美幸



今年も、荒川区軟式野球連盟、荒川区少年野球連盟、荒川区サッカー協会の協力により、グラウンドとその周辺のごみ拾いを実施しました。限られた時間内での活動でしたが、多くのごみが集まったことに子どもたちからも驚きの声が上がっていました。

この活動を通して、環境保護、環境美化の大切さを一人でも多くの子が学んでくれることを望んでいます。

- ①11月12日(日) ②660(600)人 ③360袋(200/100/60) ⑤3個 ⑥荒川区軟式野球連盟、荒川区少年野球連盟、荒川区サッカー協会

## 35 情報労連東京都協議会、NTT労働組合東京グループ連絡会

扇大橋下流右岸(足立区)／目黒 稔



私たちは約22万で組織する情報産業労働組合連合会の東京都協議会と申します。北は北海道、南は沖縄まで各都道府県に協議会があり、情報産業、通信産業、それに関連した業種、関係した組織等で働く仲間が集っており、それぞれ風土

にあった活動を展開しております。年間春夏秋冬を通して、家族等に向けたレクレーションなどを開催しておりますが、中でも5月の第4土曜日を「全国環境統一行動」の日とし、地球環境を守る取り組みをしております。

- ①5月20日(土) ②286(30)人 ③169袋(102/8/59) ④76袋(22/54/0) ⑤24個 ⑥電通共済生協

## 36 (株)セイコーファシリティズ

扇大橋下流右岸(足立区)／長谷川 元美



今年は10月21日が予定日でしたが、台風の影響で中止となりましたが、荒川クリーンエイド・フォーラム様のご協力のおかげで11月4日に3回目の活動が出来ました。回を重ねていく上でごみの量に差異がないことを実感し、当日のCSR活動を果たす事も大事な事ですが、ごみの不法投棄の現状を参加出来なかった方々にもきちんと伝える事を約束でき、良い汗のかいた1日でした。

- ①11月4日(土) ②33(13)人 ③21袋(13/1/7) ④16袋(6/10/0) ⑤30個

## 37 RockCorps supported by JT 実行委員会、(株)サニーサイドアップ、RockCorps, LLC、TOKYO FM

1) 都営新宿線下流左岸(江戸川区) 6) 堀切水辺公園下流(葛飾区)

- 2) 扇大橋下流右岸(足立区) 7) 都営新宿線下流左岸(江戸川区)  
3) 堀切水辺公園下流(葛飾区) 8) 扇大橋下流右岸(足立区)  
4) 都営新宿線下流左岸(江戸川区) 9) 堀切水辺公園下流(葛飾区)  
5) 扇大橋下流右岸(足立区)



合言葉は「Give, Get Given」！4時間誰かのために体を動かし、その対価として、ライブを楽しむ。それが、RockCorps！

- 1) ①4月30日(日) ②23人 ③113袋(70/1/42) ④45袋(22/23/0) ⑤17個  
2) ①5月14日(日) 外来種除草作業のみ  
3) ①5月27日(土) ②14人 ③30袋(14/6/10) ⑤4個  
4) ①6月10日(土) ②28人 ③65袋(56/2/7) ④10袋(5/5/0) ⑤2個  
5) ①6月24日(土) ②16人 ③12袋(5/1/6) ④4袋(2/2/0) ⑤10個  
6) ①7月22日(土) ②27人 ③56袋(32/8/16) ⑤9個  
7) ①7月29日(土) ②32人 ③51袋(45/1/5) ④11袋(5/6/0)  
8) ①8月5日(土) ②50人 ③15袋(12/1/2) ④13袋(6/7/0) ⑤5個  
9) ①8月19日(土) 中止

## 38 日本KFCホールディングス(株)

西新井橋上流右岸(足立区)／茂呂 明子

- ①10月18日(水) 中止

## 39 台東区教育委員会スポーツ振興課

千住新橋上流右岸(足立区)／田島 修平



今年度も台東区スポーツ少年団の協力のもと、荒川クリーンエイドを実施いたしました。私たちが利用している運動場をよく見るとごみが散乱しており、普段運動場として利用している中でごみに気づいていなかったことを痛感しました。今回の活動

を通して、子供たちだけでなく、私たち大人も環境保全に対する意識がこれまで以上に向上しました。また、今回は運動場だけでなく道路等にあるごみも収集できましたので、今回の活動で得た環境意識を活かして、今後も清掃活動に努めていきたいと思ひます。

- ①11月5日(日) ②72(50)人 ③8袋(3/2/3) ⑤1個 ⑥台東区スポーツ少年団

## 40 (株)日立ビルシステム

1) 千住新橋上流右岸、2) 下流右岸(足立区)／山相 孝史



今年度も新入社員教育の一環として、荒川クリーンエイドを実施しました。入社早々のフレッシュな気持ちの中での社会貢献活動は想像以上に環境を考える機会となりました。来年も実施します。

- 1) ①4月10日(月) ②121人 ③127袋(80/8/39) ④43袋(15/28/0) ⑤46個  
2) ①4月11日(火) ②121人 ③60袋(38/2/20) ④24袋(8/16/0) ⑤28個  
3) ①4月12日(水) ②106人 ③93袋(51/4/38) ④42袋(19/23/0) ⑤44個

## 41 (公社)日本環境教育フォーラム(シニア自然大学)

千住新橋周辺右岸(足立区)／小堀 武信、金久保 優子



日本環境教育フォーラムの主催事業「東京シニア自然大学」修了生対象コースの講座の1つとして、実施しました。工事が入った後で、目立つ大きなごみは取り除かれていたが、タバコの吸い殻や雑誌、ペットボトル、プラスチック

ごみが採れるほどどっさりありました。ごみは、川に流してしまえば目の前からは消えますが、それが川を汚し、海を濁らせ、生きものたちを苦しめていて、回りまわって人間に還ってくる結果になるのだと、痛感しました。

- ①7月14日(金) ②15人 ③9袋(7/1/1) ④3袋(2/1/0)

## 42 東京都環境局

千住新橋周辺右岸(足立区)／佐々木 仁、南 大地



東京都環境局主催、第3回都民を対象としたテーマ別環境学習講座「スポGOMI大会 in 荒川～川ごみ拾いで、海を、そして地球を守ろう～」を開催しました。区や関係者の協力の下、29チーム109人にご参加いただき、回収したごみは100kgをこえました。荒川河川敷のごみの実態を目前にして驚く声も多く、ごみ拾い体験を通じて、海ごみや川ごみが与える影響と私たちが身近にできることを学んでいただけたかと思ひます。

- ①12月9日(土) ②110(10)人 ③22袋(12/7/3) ④11袋(2/9/0) ⑤13個

## 43 ジブラルタ生命保険(株)

常磐線周辺右岸(足立区)／中村 俊介

- ①10月7日(土) 中止

## 44 エヌ・ティ・ティ・ビジネスアソシエ(株)

東武伊勢崎線周辺右岸(足立区)／畔上 芳明

- ①10月28日(土) 延期

## 45 日本ロレアル(株)

東武伊勢崎線下流右岸(足立区)／井村 牧



昨年に引き続き、荒川でのクリーンアップ活動に参加させていただけたことで、環境保全活動の大切さに対し、更なる意識の向上を図ることができました。参加した社員からは、「日々の生活の中で、リサイクルやごみを減らす工夫が大切だと感じた」などの声があり、継続的な活動を行うとともに、改めて、日頃からの心がけが求められていると認識する良い機会となりました。

- ①6月14日(土) ②15人 ③23袋(11/1/11) ④9袋(4/5/0) 11個

## 46 リコージャパン(株)

堀切橋上流右岸(足立区)／鳴島 里美



リコージャパンは、環境月間に先駆けて5月28日(日)に河川敷清掃を実施しました。社員やその家族だけではなく、お客様や地域の学生も参加して、河川敷にある大量の漂着ごみを拾い、冷蔵庫も2台回収しました。また、自然教室と環境クイズ大会を行い、楽しく環境について学びました。参加者はごみの多さに驚き、気づいたことが沢山あったので継続して取り組んでいきたいと思ひました。

- ①5月28日(日) ②59(6)人 ③72袋(38/5/29) ④34袋(12/22/0) ⑤23個

市民団体	自治体	実施会場名 / キャプテン名
企業	学校	①実施日 ②参加人数(子ども人数) ③大ごみ袋数(可燃/不燃/ペットボトル) ④小ごみ袋数(びん/缶/電池) ⑤粗大ごみ数 ⑥参加団体

## 47 (株)セブン銀行

堀切橋上流右岸(足立区)／浅野 枝理



セブン銀行では2008年より従業員の環境教育および環境への配慮の取り組みとして清掃活動を行っております。2017年9月は従業員とその家族83名で、荒川の水深約100mを清掃しました。ペットボトルやレジ袋、包装容器などのプラスチックごみを回収した後、拾ったごみの種類と数を検証し、ごみを減らすためにできることについて振り返りました。セブン&アイHLDGS.グループの一員として、継続して清掃活動に取り組んでいく必要があると改めて感じる良い機会となりました。

①9月30日(土) ②82(14)人 ③111袋(69/6/36) ④44袋(17/27/0) ⑤39個

## 48 葛飾区都市整備部調整課

1) 首都高速6号線上流左岸(葛飾区)、  
2) 新四ツ木橋周辺左岸(葛飾区)／中村 太一



葛飾区が行う荒川クリーンエイドは、春と秋の年2回、区広報やホームページで参加者を募集しています。春のクリーンエイドは、一般参加者と少年軟式野球チームに参加いただき、ごみ拾いと調査を行いました。

1) ①4月23日(日) ②53(48)人 ③41袋(15/12/14) ⑤5個  
2) ①10月21日(土) 中止

## 49 (一財)アールビーズスポーツ財団

1) 船堀橋上流右岸(江戸川区)、2) 堀切水辺公園周辺(葛飾区)／廣沢 友里絵



(一財)アールビーズスポーツ財団では、全国でランニングや自転車を中心とした市民参加型スポーツイベントの支援を行っています。荒川河川敷では、毎年1月と10月に「東京30K(トーキョーサーティーケー)」を開催しており、合計1

万人近くのランナーが集まります。荒川クリーンエイド活動では、参加者の家族や近隣にお住まいの観戦者を中心に、参加者に声援を送りながら、またはゴールを待ちながら活動しております。

1) ①1月28日(土) ②23(7)人 ③5袋(2/2/1) ④2袋(1/1/0)  
2) ①10月7日(土) ②8人 ③3袋(1/1/1)

## 50 目白大学石田ゼミ

四ツ木橋周辺左岸(葛飾区)／杉崎 幸亮

①11月12日(日) ②10人 ③16袋(6/2/8) ④4袋(2/2/0) ⑤4個

## 51 バリオセキュア(株)

新四ツ木橋周辺左岸(葛飾区)／伊藤 英明



バリオセキュアは2001年の創業以来、自社開発したUTM機器で様々な企業のインターネットセキュリティを守り続けています。新入社員研修の一環として今回初めて参加しました。参加者から「ごみを捨てるのは一瞬だが、ごみをなくすのは大変かつ途方もない労力がかかることを実感した」との感想が寄せられました。ごみ問題解決プランを作成するワークショップでは白熱した議論が展開されました。バリオセキュアでは今後も新卒研修として、荒川クリーンエイドに参加していきます。

①5月1日(月) ②9人 ③27袋(15/5/7) ⑤6個

## 52 葛飾区立中川中学校

新四ツ木橋周辺左岸(葛飾区)／立澤比呂志

①10月21日(土) 中止

## 53 (株)新生銀行

木根川橋周辺左岸(葛飾区)／江頭 優子



新生銀行グループでは新入社員も参加できるボランティア活動として4月に荒川クリーンエイドを実施しています。木根川橋周辺での活動は今回で8回目となりました。粗大ごみが見当たらず、一見ごみが少なくなったように感じられましたが、川辺のぬかるみにはたくさんのプラスチックごみが埋まっています、継続した活動の重要性を強く感じながらの作業になりました。

①4月15日(土) ②31(2)人 ③36袋(20/8/8)

## 54 (株)東京スター銀行

木根川橋下流左岸(葛飾区)／遠藤 順子



東京スター銀行では、行員の社会貢献活動促進のため様々なボランティアやチャリティの機会を提供しています。荒川清掃は2014年から計4回目の活動で、延べ404名が参加しました。参加者からは「子供に対する社会貢献や環境保全意識向上のよい学びの機会になった」「廃棄物に紛れるカニを見た際に、廃棄物による生態系への影響をしっかりと考えなくてはならないと感じた」など多くの学びを得ました。

①4月8日(土) ②101(4)人 ③119袋(50/28/41) ⑤15個

## 55 ローソングループ

木根川橋下流左岸(葛飾区)／深田 裕康

①11月18日(土) 中止

## 56 (一社)東京損害保険代理業協会

平井大橋上流左岸(葛飾区)／武舎 利幸

①10月7日(土) ②32(2)人 ③17袋(9/6/2)

## 57 バキュームモールド工業(株)

首都高速6号線下流右岸(墨田区)／田島 栄次



葦原に流れ着いたごみを取り出す作業は実に根気がいる。長めのトングを使っても、太く育った葦の隙間に絡みついているのでキャッチするのは容易でない。隙間に身体をひねらせながら入り込み、時に倒れそうになりながら、ゆったりとした動作でバランスを取りながら大汗をかく。全身を伸ばしたり、しゃがんだり、ひねったりまるで自然界のヨガ道場にでもいるようで、翌日は決まって筋肉痛。それでも、スッキリきれいになった作業後の爽快感を思えば、なんとか続けられそう。願わくはごみの流れ着く量がもう少し減ってくれば有難いのだが…(汗)

1) ①3月17日(金) ②2人 ③12袋(8/2/2)  
2) ①5月10日(水) ②2人 ③14袋(8/3/3) ⑤1個  
3) ①6月30日(金) ②2人 ③12袋(6/3/3)  
4) ①7月28日(金) ②2人 ③12袋(6/3/3)  
5) ①9月29日(金) ②2人 ③20袋(11/4/5) ⑤2個  
6) ①10月30日(月) ②2人 ③11袋(5/3/3) ⑤20個  
7) ①11月29日(水) ②3人 ③17袋(11/3/3) ⑤3個  
8) ①12月20日(水) ②2人 ③8袋(6/1/1)

## 58 墨田区地域力支援部スポーツ・学習課

四ツ木橋上流右岸(墨田区)／高比良 繁義



台風が近づき天候が心配されましたが、今年度も無事実施することができました。墨田区の少年野球、少年サッカーチームを中心とした多くの方に御参加いただき、たくさんのごみを拾いました。今後も継続して活動を行う予定です。

①10月28日(土) ②77(44)人 ③18袋(10/8/0) ⑥若草、みどりサッカークラブ、向島フットボールクラブ、フウガドールすみだ

## 59 アメリカン・エクスプレス・ジャパン(株)

四ツ木橋周辺右岸(墨田区)／藏森 安治



今回荒川クリーンエイドに参加することによって、普段とは違う視点で荒川と接することができました。そのギャップに驚きました。捨てられているごみの一つ一つは小さく、遠くからではその現状に我々は気がつかないのかもしれない。また作業終了後、収集したごみを分類することで参加者それぞれに新たな気づきも生まれました。「清掃活動を通じて環境意識の変化を参加者に促す」荒川クリーンエイド・フォーラム様の工夫がうかがえます。

①4月16日(日) ②13(3)人 ③16袋(11/2/3) ⑤5個  
⑥(NPO)ハンズオン東京

## 60 (株)エックスワン

1) 四ツ木橋周辺右岸(墨田区)、2) 新四ツ木橋下流右岸(墨田区)／松本 龍詞



弊社は、より「自然」、より「安心」、より「安全」な商品を開発することを基本にしています。エコロジー指向で、環境を保護する生分解可能な素材を求め、地球にやさしい商品づくりをしています。今回で16回目の活動となりました。同じ場所での活動を継続することで、河川の細やかな変化にも気づき、有意義な活動となりました。水辺の葦やカニなどの生き物が年々増えていく変化を仲間と共有できることは何よりの喜びです。「自分たちの生活を見直すこと」を意識し、学びある活動と新しい仲間を増やしながら気づきの輪を拡げて行きたいと思えます。

1) ①5月21日(日) ②52(3)人 ③64袋(34/15/15) ⑤13個  
2) ①11月25日(土) ②24(1)人 ③45袋(22/8/15) ⑤2個  
⑥グローリー株式会社

## 61 グローリー(株)

新四ツ木橋下流右岸(墨田区)／柏木 茂一

2018年3月に延期

## 62 クリフォードチャンス法律事務所外国法共同事業

京成押上線流右岸(墨田区)／崎村 令子



クリフォードチャンス東京オフィスは、CSR活動としてファンディングによる災害支援や、プロボノ活動を数多く行っています。今年の清掃活動は4月に一度行いました。春と秋の年2回清掃活動を行うのがごみを減らしていく良いサイクルのようですが、秋はあっという間に過ぎてしまい、今年は冬の開催となりそうです。今後も継続して楽しみながら活動を行っていく予定です。

①4月15日(土) ②12(1)人 ③26袋(19/3/4) ④6個

### 認定NPO法人あっちこちとの協働

「あっちこち」は芸術をもっと気軽に楽しんでもらうために活動している団体です。当団体はSOMPOホールディングスサンクスデーにてあっちこちと連携し、河川ごみを活用したアート体験コーナーを運営しました。今後も様々な形で連携できればと思っています。あっちこち Webサイト <http://acchicocchi.com/>



アーティスト  
周 平さんの作品

## 63 Bloomberg L.P.

京成押上線 上流右岸(墨田区) / クリステーション 太伊、野口 有紀



ブルームバーグの社会貢献活動は、ブルームバーグ フィランソロピーズの一環として、社員の専門技能や才能を引き出し活用することで、世界各地の地域社会との関係を強化し生活の向上を目指しています。ブルームバーグ フィランソロピーズに関する詳細はwww.bloomberg.orgをご覧ください。荒川清掃活動においては、荒川クリーンエイドと共に清掃を通じて荒川近郊の動植物にとってより棲みやすい環境を整えたり、環境保全の啓蒙活動へのお手伝いをさせていただいております。今後も、皆様と共に、清掃を通じてごみ問題に取り組んでいきたいと思っております。

1) ①6月29日(木) ②12人 ③32袋(16/4/12) ④4個  
2) ①12月7日(木) ②11人 ③50袋(19/12/19) ⑤2個

## 64 (株)ユーニック

京成押上線 周辺右岸(墨田区) / 清水 直樹



今回は、荒川クリーンエイド活動を実施し、54名の方々に参加してもらいました。7回目となり、新しい参加者も増え、社内の活動が浸透してきております。今後も継続し、多くの参加を募っていきたく思っております。

- 1) ①4月15日(土) ②85(11)人 ③56袋(16/18/22)
- 2) ①11月4日(土) ②54 (11)人 ③64袋(22/23/19) ⑤6個

## 65 松山油脂(株)

木根川橋 周辺右岸(墨田区) / 杉崎 広信

- ①10月21日(土) 中止

## 66 中土手に自然を戻す市民の会

JR総武線 下流左岸(江戸川区) / 佐藤 正兵



中土手五色池周辺では大杉小学校と小松南小学校4年生が『中土手たんけん』でごみ拾いも実施しているので、当会のクレーンエイドは中川の護岸に散乱したごみ拾いを中心に実施。ごみ拾いの後は山形流の「芋煮会」を行い、牛肉と里芋

のたくさん入った鍋をたらふくいただきました。クズのツルで覆われた場所を草刈隊が大鎌で刈りこんで、スカイツリーよりも高く(?)積み上げました。子供たちはこの山に向かって、弓矢を射て遊びました。

- ①11月19日(日) ②20(3)人 ③15袋(10/2/3) ⑤8個

## 67 江戸川区立大杉小学校

JR総武線 下流左岸(江戸川区) / 藤島 寿晴

土手を2kmほど歩きながらごみを拾いましたが、夏と比べてタバコや花火が少なかった。川にはペットボトルが多く流れてきていました。

- 1) ①4月21日(金) ②63(57)人 ④4袋(2/1/1) ④1袋(0/1/0)
- 2) ①11月10日(金) ②62(58)人 ④4袋(1/1/2)

## 68 葛飾区立小松南小学校

JR総武線 下流左岸(江戸川区) / 吉田 貴美子

ごみ拾いだけでなく、自然遊びなどの体験ができ、とても良いと思います。

- 1) ①6月20日(火) ②78(67)人 ③12袋(7/2/3) ④4個
- 2) ①10月3日(火) ②79(67)人 ③4袋(2/1/1)

## 69 (株)ダイエー

都営新宿線 下流左岸(江戸川区) / 中山 大輔

- ①4月9日(日) 中止

## 70 三菱製鋼(株)

都営新宿線 下流左岸(江戸川区)



当社は、地球環境の保全は人類最重要課題の一つと認識し、環境の保全に積極的に取り組むことを企業行動指針の中で定めています。今回、新入社員研修の一環で初めて荒川クリーンエイドに参加しました。大小様々な大量のごみがある

場所で、チーム対抗戦の形式で清掃活動を行いました。新入社員からは「当事者意識をもってごみ問題を考えるきっかけになった」「協力して課題に取り組むことの大切さを学んだ」との感想があり、本活動を通じて環境意識の向上とともに、チームワークや協調性を育む機会にもなりました。

- ①4月13日(木) ②21人 ③41袋(20/1/20) ④20袋(9/11/0) ⑤10個

## 71 JAMBO International Center

1) 葛西橋 下流左岸(江戸川区)、2) 都営新宿線 下流左岸(江戸川区) /

David Howenstein



ジャンボインターナショナルは1996年に設立された東京にある国際的な団体です。自然環境に感謝しながら、様々な環境保護・人間開発のNPOを支援しています。毎月プログラムを平均7回催しており、ハイ

キング、自然環境作業、ゴミ拾い、チャリティーパーティーなどを行います。これらのイベントには多くの外国人と日本人が集まり、皆で楽しい時間を過ごします。オープンな団体なので、どうぞ誰でも参加してください。

- 1) ①4月1日(土) 中止
- 2) ①5月2日(土) ②9人 ③43袋(21/7/15) ④6袋(2/4/0) ⑤5個

## 72 日本水産(株)

都営新宿線 下流左岸(江戸川区) / 畷尾 規子



海の恵みを受けて事業を行っているニッスイグループ。毎年、事業所周辺のごみ拾い活動を行っていますが、荒川クリーンエイドには初めての参加でした。ごみによって野生生物が受けている影響を知り、荒川の生物多様性の奥深さに

感銘を受け、小さい体で力強く飛び跳ねるトビハゼを観察し、この小さい命の為に環境を守りたいという気持ちに。そして、いざごみ拾いへ。皆、その数に驚き、目の前のごみを必死に拾い集めた1時間でした。

- ①9月24日(日) ②21(6)人 ③21袋(16/1/4) ④6袋(2/4/0) ⑤21個
- ⑥(公社)日本環境教育フォーラム

## 73 東京東江戸川ローターアクトクラブ

葛西橋 上流左岸(江戸川区) / 荒牧 和沙、Kristin Joy



当日は晴天に恵まれ、気持ちの良い日差しが差し込む、まさにごみ拾い日和となりました。活動には27人が参加。初めて参加する方々がほとんどでした。普段の河川敷のイメージと違って、ヨシの下に溜まったごみが次々と出てくる

と、参加した人のほとんどが驚いているようでした。参加者からは、「こんなにごみがあるとは思わなかった。」「どうして捨てるんだろうか?」といった感想が出ました。今回の活動で、参加者の皆さんは河川ごみ問題という社会課題に実際に触れ、そして様々なことを感じた機会となったと思います。活動が終わった後は、ごみを拾ってキレイにした河川敷を眺めつつ、お弁当を広げて参加者同士の懇親を図りました。

- 1) ①11月21日(土) ②44(5)人 ③24袋(19/0/5) ④10袋(4/6/0) ⑤13個
- 2) ①3月19日(日) ②27人 ③32袋(13/1/18) ④14袋 ⑤21個
- 3) ①10月7日(土) 中止

## 74 江戸川区土木部

葛西橋 上流左岸(江戸川区) / 村山 卓



10月の台風21号の影響か、ペットボトルは昨年よりも少なく感じました。それでもはじめて参加したメンバーはごみの量の多さに驚いていました。特に小さく破片になったごみが多く、ふりかえりでは自然環境への悪影響を心配する声

が多く聞かれました。ごみ問題を考える良い機会になったようです。

- ①11月16日(木) ②22人 ③14袋(9/1/4) ④5袋(2/3/0) ⑤6個

## 75 DEXTE-K

葛西海浜公園 西なぎさ(江戸川区) / 橋爪 慶介



6月17日は総勢42名の参加でした。梅雨の晴れ間での活動でしたが、日差しは強かったですが、そよ風が気持ちよく、爽やかに活動できました。漂着ごみは少な目でしたが、先月と同じ程度で45リットルのゴミ袋で16袋ほどでした。大

きなごみは岩場の隙間からほとんどでした。個人参加者も企業参加者も8割程度がリピーターでした。

- 1) ①3月11日(土) ②14(3)人 ③6袋 ⑤21個
- 2) ①4月15日(土) ②31(2)人 ③6袋 ⑤4個
- 3) ①5月20日(土) ②43(4)人 ③16袋 ⑤4個
- 4) ①6月17日(土) ②42(3)人 ③16袋 ⑤5個
- 5) ①7月22日(土) ②90(5)人 ③64袋 ⑤7個
- 6) ①8月19日(土) ②66(10)人 ③41袋 ⑤17個
- 7) ①9月9日(土) ②49(4)人 ③18袋 ⑤12個
- 8) ①10月28日(土) ②7(2)人 ③22袋 ⑤10個
- 9) ①11月19日(土) ②20(3)人 ③36袋 ⑤27個

## 76 (NPO)えどがわエコセンター

葛西海浜公園 東なぎさ(江戸川区) / 中嶋 美南子



春の東なぎさクリーンエイドは14年目に入り18回目を実施した。毎年船で渡る東なぎさは、参加者にとって別世界でありリピーターも多い。定員40名の募集に65名の申し込みがあり3回もの往復運航をお願いした。50袋のごみを回収した。

各分野にわたる観察会は野鳥・植物・底生生物と参加者の人気を集めた、野鳥の会からは「三枚洲のラムサール登録」の活動報告がありスズガモ大群の写真を上げた前で地元江戸川区を超えて、東京都も乗り気になり今は国・環境省に働きかけている来年のCOP13を目指す、との報告には歓声が上がって、マスコミが目撃した。22回目を迎える大クリーン作戦は残念ながら主催者の都合で実施できなかった。

- ①6月17日(土) ②58(2)人 ③17袋(12/0/5) ④10袋(4/6/0) ⑤6個
- ⑥葛西東渚鳥類園友の会

## 77 小松川平井連合町会

木下川排水機場～ロックゲート(江戸川区) / 谷川 貞夫

- ①11月19日(日) ②2117人

## 78 小松川信用金庫

平井大橋 周辺右岸(江戸川区) / 高橋 桂治



ペットボトルやタバコの吸殻など生活に関連したごみが多く、実際に清掃活動をして河川敷がごみで汚れていることに驚きました。自分の住む町は自分自身でごみの管理をし、普段から生活のごみを減らす意識を持つことが大切である

と思いました。

- ①6月3日(土) ②139(10)人 ③54袋(24/18/12) ④23袋(7/16/0) ⑤11個

## 79 下平井水辺の楽校

JR総武線 下流右岸(江戸川区) / 中嶋 美南子



年に2回、企業や市民のみならずにもご参加いただきクリーンエイドに取り組んでいます。みなさんのおかげで、子どもたちが遊び学ぶ水辺がきれいに安全に保たれ、感謝しております。子どもたちも、毎月活動の前にごみを拾ってごみ

について学んでいます。今後も、子どもも大人もいっしょになって取り組んでいきたいと思っております。

- 1) ①4月23日(日) ②53(8)人 ③43袋(32/3/8) ④15袋(4/11/0) ⑤22個
- 2) ①5月13日(土) 中止
- 3) ①6月11日(土) ②41(20)人 ③11袋(7/2/2) ④3袋(1/2/0) ⑤6個
- 4) ①7月9日(日) 中止
- 5) ①9月10日(日) ②16(4)人 ③6袋(4/1/1) ④2袋(1/1/0) ⑤2個
- 6) ①10月9日(月) ②43(10)人 ③28袋(18/1/9) ④10袋(3/7/0) ⑤14個
- 7) ①11月12日(月) 中止

## 80 江戸川区立平井小学校

1) 都営新宿線下流右岸(江戸川区) / 2) JR総武線下流右岸(江戸川区) / 平田 鐘明、吉田 未希

平井小4年生の総合的な学習の時間の一環として、クリーンエイドに組みました。これまでも、子どもたちは昆虫探しや植物観察などで荒川に親しんできましたが、今回の活動を通して、「荒川を大切にしたい」という気持ちがさらに強まったようです。身近な荒川について様々な視点から学び、考える機会はとても有意義だと感じました。

1) ①2月8日(水) ②72(69)人 ③13袋(7/2/4) ④8袋(3/5/0) ⑤東京都  
2) ①10月26日(木) ②95(87)人 ③19袋(13/2/4) ④8袋(4/4/0) ⑤11個

## 81 江戸川区立平井東小学校

JR総武線下流右岸(江戸川区) / 武藤 麻衣

4、5年生の総合的な学習の時間で、毎年荒川クリーンエイドに参加しています。これまで、草原や干潟の生物を調べる活動もしてきました。学校のすぐ近くを流れる荒川は、子どもたちにとって身近な存在です。そんな場所で、たくさんのごみが見つかり驚き、ショックを受けたようでした。川の自然を守るために、一人ひとりができることを行動に移していくことの大切さを学ぶことができました。

①11月22日(水) ②137(120)人 ③14袋(11/1/2) ④4袋(1/3/0) ⑤39個

## 82 川の手ファンクラブ

1)~5) JR総武線下流右岸、6) JR総武線下流左岸(江戸川区) / 高山 亮



蛇口をひねればすぐ飲める水。河川敷でRUN、バイク、サッカー、野球、恋人家族でピクニック・堤防でお昼寝。でも岸辺へ行ってみるとゴミがたくさん……アクション!!このごみなんとかしなきゃと思ったみんな、気軽にゴミ拾いに参加くださいね!!

1) ①4月23日(日) ②11(4)人 ③13袋(11/1/1)  
2) ①5月13日(土) ②3人 ③2袋(2/0/0) ⑤5個  
3) ①7月9日(日) ②12(2)人 ③21袋(18/1/2) ⑤15個  
4) ①10月9日(月) ②17(2)人 ③13袋(11/0/2) ④3袋(2/1/0) ⑤57個  
5) ①11月12日(月) ②13(2)人 ③22袋(15/3/4) ④4袋(2/2/0) ⑤35個  
6) ①12月17日(日) ②11(1)人 ③43袋(27/6/10) ⑤10個

## 83 鴻池運輸(株)

JR総武線下流右岸(江戸川区) / 西尾 一郎

①11月18日(土) 中止

## 84 みずほ証券(株)

首都高速7号線下流右岸(江戸川区) / 岡 匡一、安藤 幸作



当社では、2013年から新入社員向けのCSR研修として荒川の清掃活動に参加しており、今回は4月19日と20日の2日間で計365名の新入社員が参加しました。両日ともに天候に恵まれ、チーム毎に協力し合って多くのごみを回収しました。本活動を通じて、環境問題を身近なものとして捉え、日常生活における意識の持ちようや、社会の一員としての自覚と責任について改めて考えることができ、貴重な経験となりました。

1) ①4月19日(水) ②176人 ③128袋(88/4/36) ④48袋(24/24/0) ⑤16個  
2) ①4月20日(木) ②189人 ③140袋(83/2/55) ④24袋(6/18/0) ⑤40個

## 85 島村運輸倉庫(株)

首都高速7号線下流右岸(江戸川区) / 嶋村 文男



4月22日(土)曇り空の下、毎年春と秋に行っている荒川河川敷清掃に社員一同で行って来ました。風も少々あったのですが作業中はかなり汗をかきました。今回も4kmポスト付近から上下流に分かれてごみ拾いをしました。今年の新入社員も一生懸命頑張っていました。全てのごみを拾いきるのは難しいです。今回は注射器は出ませんでしたが相変わらずそれが河川敷に落ちていることに疑問を感じます。ごみはまだたくさんあります。合言葉は「荒川でちょっといいこと ごみ拾い」。未来の子供たちに豊かな自然を残しましょう。このごみの多さを目の当たりにして毎回思うのは、継続していくことの大切さです。

1) ①4月22日(土) ②35人 ③26袋(20/0/6) ④11袋(7/4/0) ⑤3個  
2) ①11月25日(土) ②34人 ③32袋(20/3/9) ④11袋(7/4/0) ⑤1個

## 86 東京江戸川ロータリークラブ

船堀橋上流右岸(江戸川区) / 岩崎 高章

①5月28日(日) 中止

## 87 (一社)東京都トラック協会江戸川支部

船堀橋上流右岸(江戸川区) / 森本 勝也



当支部は主に江戸川区内に所在する一般貨物運送事業者の団体で、会員事業者数は338社、登録車両6200車両(H29.9月現在)を有し、東京23区で最も大きい支部です。今年度は当支部も創立50周年を迎え、社会貢献事業の一環として、

この度初めて荒川クリーンエイドを行いました。今後も継続して行なえればと考えております。

①9月3日(日) ②37(1)人 ③25袋(7/12/6)

## 88 江戸川・生活者ネットワーク、ガールスカウト第215団

船堀橋上流右岸(江戸川区) / 原田 眞佐子



ごみ拾いを始める前、河原にびっしりビニール製のごみが張り付いていたので今年は特に多いなあと思っていた。1時間のごみ拾いが終る頃にはビニール類は皆の協力で拾われてきれいになり、気持ちのいい風景となりました。調査カードに書かれた小学生の感想にもレジ袋やポリ袋、生活ごみが多い!とあり、「一人一人が気を付けるといいな」とかかれています。

①11月12日(日) ②40(15)人 ③35袋(22/3/10) ④12袋(6/6/0) ⑤17個

## 89 SMBC日興証券(株)

船堀橋周辺右岸(江戸川区) / 下村 晃弘

①10月15日(日) 延期

## 90 江戸川区立小松川第二小学校

都営新宿線周辺右岸(江戸川区) / 栗原 慎



体験的な活動を通して多くのことを学ぶことができました。特に、「外来種」という言葉は、テレビ等で知っていてもきちんと理解できていない児童が多かったです。そのため、セイタカアワダチソウの除草作業を行い、さらに荒川クリーンエ

ド・フォーラムさんの話を聞くことで深く理解することができました。体験後の学習では、多くの子供が外来種についてまとめていました。

①9月14日(木) ②134(128)人 ③33袋(2/0/1) ④2袋(1/1/0) ⑤6個

## 91 三井住友海上プライマリー生命保険(株)

都営新宿線周辺右岸(江戸川区) / 染屋 葉子



三井住友海上プライマリー生命保険株式会社では、2009年から年に1回、社員とご家族の任意参加で、荒川のごみ拾いを実施しています。今年は外来草である「セイタカアワダチソウ」の駆除も行いました。駆除方法は軍手で引っ張るだけなので、

小さい子ども達も頑張ってくれて自然学習にもなりました。一見綺麗に思えた河川敷でしたが、いざごみ拾いを始めると川辺・草木の中に多数のごみが落ちており、結果35袋ものごみを回収しました。一方で、カニが生息しているなど都内にいながら自然の豊かさを感じることもできます。荒川がきれいであるよう、いつまでも自然豊かであるよう清掃活動を継続していきたいと思

①11月5日(日) ②74(27)人 ③35袋 ⑤5個

市民団体	自治体
企業	学校
実施会場名 / キャプテン名	
①実施日 ②参加人数(子ども人数)	
③大ごみ袋数(可燃/不燃/ペットボトル)	
④小ごみ袋数(びん/缶/電池) ⑤粗大ごみ数 ⑥参加団体	

## 92 住友生命保険(相)

都営新宿線周辺右岸(江戸川区) / 松本 大成



住友生命では「CSR経営方針」を踏まえ、海外を含め全国で職員によるボランティア活動「スマセイ・ヒューマニー活動」を実施し、今年で26年目を迎えています。その一環として、荒川河川敷にて本格的な清掃活動を開始し、今年で7年目を迎えます。今回は天候を見ながら短時間の活動でしたが、前回並みのごみを収集することができました。この活動は今後も継続実施していきたいと考えています。なお「スマセイ・ヒューマニー活動」は、今年度「東京都 共助社会づくりを進めるための社会貢献大賞」企業部門の大賞を受賞しました。

①11月11日(土) ②460(60)人 ③173袋(106/2/65)  
④61袋(31/30/0) ⑤4個

## 93 非公開

都営新宿線周辺右岸(江戸川区)

①6月2日(金) ②110人 ③50袋(36/1/13) ④11袋(5/6/0) ⑤11個

## 94 環境省

都営新宿線周辺右岸(江戸川区)

①12月16日(土) ②37(23)人 ③13袋(7/1/5) ④7袋(2/5/0) ⑤5個  
⑥(株)リベルタス・コンサルティング、大成高等学校、調布市立第七中学校

## 95 ペガジャパン(株)

都営新宿線下流右岸(江戸川区) / ベイスン・サンドラ



①4月26日(水) ②16人  
③17袋(10/1/6)  
④6袋(3/3/0) ⑤5個

## 北澤隆という男のロマン

パキュムモールド工業(株) 田島栄次



●北澤隆(享年76歳)さんから「荒川をきれいにしたい。手伝ってくれ」と言われ、大きな籐製の籠とトンゴ、ツルハシを手渡されたのは3年ほど前のこと。金型製造で日本の高度成長の一翼を担ってきた会社の創業者と向かった先は、東武伊勢崎線堀切駅に近い荒川河川敷。  
●北澤さんは全盲である。会社を立ち上げて間もない33歳で光を失なった。しかし持ち前のチャレンジ精神は衰えることなく、その後会長職を務めながら、本業以外にも世界のあちこちへと出かけ、障害者のリハビリにと乗馬をしにモンゴルへ毎年のように希望者を引率したりもした。  
●水が引いた干潮時、盛り上がった粘土層に両膝について埋れたごみを掘り出そうと、北澤さんが力一杯重いツルハシを振り下ろす姿を見て、その本気度と深い感銘を受けた。視覚がないので立ったままだとふらついて危ない。重心をより低くすれば作業も安定する。会社経営で培った発想と実践力がここでも発揮されていた。きれいな荒川の自然を次世代に残したいという想いがそこにあった。そんな姿に接して、私は正直、憧れ或いはジェラシーに似た感情さえ覚えた。それは、一人の男の人生を貫くロマンであり、美学のようなものではないかと思われたからである。

## 96 ジョンソンコントロールズ(株)

都営新宿線下流右岸(江戸川区) / 徳重 真宏



当日は晴天に恵まれ、10月とは思えない暑さの中の活動となりました。会場に到着して、地面いっぱいに広がるごみを目の当たりにしたときには悲しい気持ちになりましたが、従業員の家族も含め13人で精一杯ごみを拾い、限られた範囲

でしたがごみが無くなり綺麗になった様子を見ると充実した気持ちになりました。参加者からは「是非また参加したい」という声が多く集まりました。

1) 10月1日(日) 2) 13(5)人 3) 13袋(7/0/6) 4) 10袋(3/7/0) 5) 2個

## 97 江東区立第五大島小学校

都営新宿線下流右岸(江戸川区) / 高比良 利香



私たちの小学校は小名木川と旧中川の合流するところにあり、川は身近な存在です。4年生の総合的な学習の時間では、荒川に棲む生き物や植物、環境問題について学習しています。今回の活動に参加して、ごみ拾いを行うことで環境問題

について考えを深めることができました。今後も川に興味を持ちながら学習を進めていきます。

1) 9月15日(金) 2) 69(59)人 3) 8袋(2/1/5) 4) 5袋(2/3/0)

## 98 (株)キャプティ

都営新宿線下流右岸(江戸川区) / 本橋 俊明



今年も好天に恵まれた開催となりました。新入社員研修としてのクリーンエイド活動も5年目となり、午前中のごみ拾いゲーム、午後のグループ討議など内容の濃い研修となりました。毎年の光景ですが、参加メンバーは「ごみなんかかさそうだ」などと話していましたが、ごみの種類の多さに驚きの声を上げ、グループごとにクリーンエイド活動に取り組みたくさんのごみを拾っていました。キャプティでは、荒川クリーンエイドを利用した「新入社員研修」を今後も継続して実施していきたいと考えています。

1) 5月16日(火) 2) 45人 3) 26袋(19/1/6) 4) 11袋(5/6/0) 5) 5個  
2) 11月19日(日) 中止

## 99 江東区土木部施設保全課

葛西橋下流右岸(江東区) / 猪野 剛



小雨の中、清掃範囲と時間を短縮して実施し、あいにくのお天気の中でも熱心に活動していただきました。狭い範囲にもかかわらず、予想以上のごみの多さに「毎日ごみ拾いに来ないとダメですね」との感想が寄せられました。

1) 10月21日(土) 2) 13人 3) 10袋(6/1/3) 4) 3袋(1/1/1)  
6) 第二あすなろ作業所、江東・生活者ネットワーク

## 100 大和ハウス工業(株)

清砂大橋周辺右岸(江東区) / 齋藤 卓真

1) 11月26日(日) 中止

## 101 東京都立東高等学校

清砂大橋下流右岸(江東区) / 八巻 亨

1) 7月19日(水) 2) 292(277)人 3) 69袋(31/18/20) 4) 7袋(3/3/1)  
5) 10個

## 102 江東エコリーダーの会

清砂大橋下流右岸新砂干潟(江東区) / 阿部 美和



5月28日(日)江東エコリーダーの会主催「春の新砂干潟の観察会とクリーンアップ」を実施しました。当日はモニタリング調査と清掃を行いました。大潮で干潟にはたくさんのカニがみられました。相変わらずプラスチック系ごみが目立

ちました。

1) 5月28日(日) 2) 11人 3) 16袋(12/4/0) 5) 3個  
2) 7月29日(日) 2) 59(23)人 3) 24袋(18/6/0) 5) 3個  
3) 11月5日(日)

## 103 ビザ・ワールドワイド・ジャパン(株)、(NPO)ハンズオン東京

千住新橋下流左岸(足立区) / 伊藤 瑠美



VisaはHandsOn東京への支援を通じたCSR活動の一環として、今回初めて荒川河川敷でのクリーンエイドに参加しました。当日は20名以上の社員が参加しました。ボランティア活動を通じ、多くのごみを回収・分別することにより環境問題を身近に感じ、また通常の業務とは違った達成感を得られたことに喜びを感じています。これからも、継続的に参加し、社会貢献とコミュニティへのサポートを続けていくことができれば幸いです。

1) 10月6日(金) 2) 20人 3) 48袋(32/0/16) 4) 15袋(9/6/0) 5) 13個

## 104 すみだエコクラブ

扇大橋周辺右岸(足立区) / 庄司 直子



私たちは、近隣ボランティアさんと協力しながら、荒川河川敷に生息している野良猫の避妊去勢手術をしてこれ以上猫の数を増やさないようにし、あわせて周辺のお掃除もしています。人にとっても、猫にとっても、荒川の環境が良くなるように活動しています。

1) 12月17日(日) 2) 5人 3) 17袋(15/2/0)



# 環境教育の推進 / 生物多様性の保全



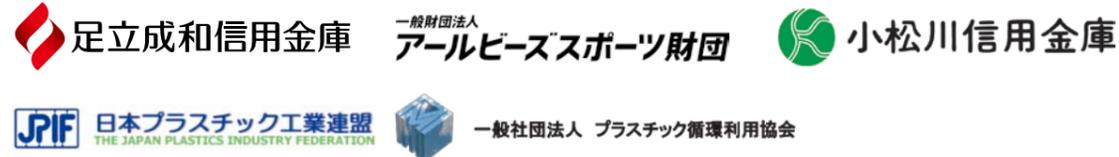
## 2017年 お世話になりました

本年度も様々な形で多くの団体・個人の皆さまにお世話になりました。

- 寄付** (NPO) 荒川クリーンエイド・フォーラムへご寄付いただきました。
- 一般寄付** Bloomberg L.P.、株式会社東京スター銀行、株式会社丸井、損害保険ジャパン日本興亜株式会社、株式会社ダイエー、ジョンソンコントロールズ株式会社 (順不同)



- 協賛** 荒川クリーンエイド2017へご協賛いただきました。
- 一般協賛** 足立成和信用金庫、一般財団法人アールビーズスポーツ財団、小松川信用金庫、日本プラスチック工業連盟、一般社団法人プラスチック循環利用協会 (五十音順)



- 物品協賛** アルミ缶リサイクル協会、SMCシビルテクノス株式会社、Google Ad Grants、公益社団法人食品容器環境美化協会、株式会社スター商事、株式会社トンボ鉛筆、発泡スチロール協会、フィリップ モリス ジャパン合同会社、松原産業株式会社 (五十音順)

- 後援** 荒川クリーンエイド2017への後援をいただきました。
- 国土交通省関東地方整備局荒川下流河川事務所、国土交通省関東地方整備局荒川上流河川事務所、埼玉県、東京都、戸田市、川口市、板橋区、北区、荒川区、台東区、足立区、葛飾区、墨田区、江戸川区、江東区

- 政府調達業務** 関東地方整備局荒川下流河川事務所(平成29年度荒川下流管内水辺等管理支援補助業務)、東京都(河川ごみ拾い体験事業実施業務)

- 助成事業** 下表の助成金に採択され、プロジェクトを実施いたしました。(一部事業は継続実施中)

助成金・助成事業名	採択されたプロジェクト名
一般社団法人関東地域づくり協会	平成29年度荒川環境美化活動広報・支援事業
大阪コミュニティ財団東洋ゴムグループ環境保護基金	荒川クリーンエイド比較.com! 荒川発! 若手人材獲得プロジェクト
「水の日」・「水の週間」上下流交流事業	荒川沿川を川ごみ清掃ネットワーク!
パタゴニア環境助成金	トビハゼを救え! ゴミで埋まる泥干潟 救出大作戦☆
三井物産環境基金	ストップ! プラごみ 海へ出る前に ~荒川発! プラスチックごみ対策~

- プロボノ支援** (NPO) サービスグラント 他(P39参照)

- スタッフのキャパシティビルディング** (NPO) エティック&アメリカン・エクスプレス財団 (アメリカン・エクスプレス・サービス・アカデミー2017)、ホワイト&ケース外国法事務所 弁護士事務所 ホワイト&ケース法律事務所 (外国法共同事業) (The Learning Forum High-impact Presentations)

- インターン** 岡岡 夏海(明治大学)、増井 涼太(専修大学)、星野 友紀 (五十音順)

- 学生目線でコンサルティング(五十音順)** 180 degrees consulting Japan: 梶原 宏峰、桐葉 恵、鈴木 悠生、成田 恵瑠果、西原 七海、早川 彩紀、宮内 大河、本川 俊、森本 哲矢 (五十音順)



アメリカン・エクスプレス・サービス・アカデミーでは多くの気づきを得られました。

他にもたくさんの方々にご協力をいただき、2017年も有意義な活動を行うことができました。ありがとうございました。

## 荒川クリーンエイド・フォーラムの組織

### ■ 会員

会員区分	団体	個人
正会員	以下44団体 足立成和信用金庫、(一財)アールビーズスポーツ財団、SMCシビルテクノス(株)、(株)エックスワン、(NPO)えどがわエコセンター、江戸川・生活者ネットワーク、エヌ・ティ・ティ・ビジネスアソシエ(株)、NTT労働組合東京グループ連絡協議会、クリフォードチャンス法律事務所外国法共同事業、グローリー(株)、江東エコリーダーの会、鴻池運輸(株)、小松川信用金庫、ジブラルタ生命保険(株)、島村運輸倉庫(株)、下平井水辺の楽校、JAMBO International Center、(株)新生銀行、情報労連東京都協議会、住友生命保険(相)、(株)セイコーファシリテイズ、(株)ダイエー、大日精化工業(株)、東京足立ライオンズクラブ、(一社)東京損害保険代理業協会城東支部、東京都立桐ヶ丘高等学校、東京東江戸川ローターアクトクラブ、東レ(株)、中土手に自然を戻す市民の会、日本KFCホールディングス(株)、日本工営(株)、日本プラスチック工業連盟、日本ロレアル(株)、バキュームモールド工業(株)、バリオセキュア(株)、(NPO)ハンズオン東京、BNPパリバ証券(株)、(株)フィールドワンプロモーション、Bloomberg L.P.、ふるさと清掃運動会実行委員会、ヘガジャパン(株)、松尾建設(株)、松山油脂(株)、みずほフィナンシャルグループ、三井住友海上プライマリー生命保険(株)、三井ボランティアネットワーク事業団、三菱製鋼(株)、(株)ユーニック、リコージャパン(株)、(株)ローソン	41人
賛助会員	以下2団体 (認NPO)ふるさと東京を考える実行委員会、(株)弘輝	24人
特別賛助会員	以下15団体 国土交通省関東地方整備局荒川上流河川事務所、埼玉県、東京都、戸田市、川口市、板橋区、北区、荒川区、台東区、足立区、葛飾区、墨田区、江戸川区、江東区	

荒川クリーンエイド・フォーラムでは多様な活動財源を得るため、(2017.12.15現在)  
認定NPOの取得を目指しています。ご寄付等にご協力下さい。

### ■ 役員 (2017年5月~2018年5月まで)

役名	氏名	所属等
1 代表理事	佐藤 正兵	
2 副代表理事	林 美恵子	荒川夢クラブ事務局
3 理事	石本 誠	埼玉県生態系保護協会 戸田・蕨支部長
4 理事	今村 和志	
5 理事	薄井 洋一	
6 理事	兼廣 春之	東京海洋大学名誉教授
7 理事	鬼頭 秀一	星槎大学教授 東京大学名誉教授
8 理事	高山 亮	
9 理事	星野 由実	
10 監事	菅谷 輝美	新河岸川水系水環境連絡会代表
11 監事	中嶋 美南子	下平井水辺の楽校代表

- 事務局** 事務局長 今村 和志  
事務局 五十嵐 実、江原 春美、藤森 夏幸
- 運営委員** 五十嵐 実、石川 勉、石本 誠、今村 和志、薄井 洋一、鬼平 勝之、栗林 菊夫、坂倉 剛一郎、佐藤 正兵、高山 亮、橋本 浩基、林 美恵子、坂田 沙知子、藤森 夏幸、星野 由実、星野 友紀、増井 涼太

### 荒クリでのインターンに参加して 専修大学法学部政治学科 増井涼太



私の出身は熊本県の益城。実家の周りにはたくさんの自然に囲まれています。小さい頃は川や池、山などが遊び場で自然に触れることが多く、投棄されたごみが気になっていました。子どもの頃の原体験も手伝ってか将来は環境保全に携われる仕事に就きたい。」と漠然と

思っていました。そんな中、荒川クリーンエイド・フォーラムを見つけ、面白そうな活動だと思い、インターンに応募しました。主な職務内容は、清掃活動の他、道具の準備やアンケート集計、発送作業、メルマガの執筆など様々。インターンに来る前は、清掃活動がメインと考えていましたが、実は準備や企画段階の仕事が想像以上に多いことを知りました。実体験の中でしか知ることができない経験ができ、とても良い機会になりました。



荒川クリーンエイド・フォーラム  
マスコットキャラクター  
「あらくりん」  
LINEスタンプ販売中。  
相変わらず売れてません(笑)



トビハゼがモデル……